

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2016-1729(P2016-1729A)

【公開日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-001

【出願番号】特願2015-94582(P2015-94582)

【国際特許分類】

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

G 0 6 F 9/38 (2006.01)

H 0 1 L 21/8234 (2006.01)

H 0 1 L 27/088 (2006.01)

H 0 1 L 27/08 (2006.01)

H 0 1 L 21/8242 (2006.01)

H 0 1 L 27/108 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 29/78 6 1 3 Z

G 0 6 F 9/38 3 7 0 C

H 0 1 L 29/78 6 1 3 B

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

H 0 1 L 27/08 1 0 2 E

H 0 1 L 27/08 3 3 1 E

H 0 1 L 27/10 3 2 1

H 0 1 L 27/10 6 7 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月1日(2018.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 乃至第 3 の回路を有し、

前記第 1 の回路は、外部からの情報を検出することができる機能を有し、

前記第 2 の回路は、前記第 1 の回路において検出した情報をデジタル信号に変換することができる機能を有し、

前記第 3 の回路は、記憶回路を有する第 4 の回路と、演算回路を有する第 5 の回路と、を有し、

前記第 4 の回路は、前記第 5 の回路の上方に設けられ、

前記第 4 の回路又は前記第 5 の回路の一方は、前記第 4 の回路又は前記第 5 の回路の他方と重なる領域を有し、

前記記憶回路は、チャネル形成領域に酸化物半導体を有するトランジスタを有する半導体装置。

【請求項 2】

第 1 乃至第 3 の回路を有し、

前記第 1 の回路は、外部からの情報を検出することができる機能を有し、

前記第 2 の回路は、前記第 1 の回路において検出した情報をデジタル信号に変換するこ

とができる機能を有し、

前記第 3 の回路は、第 1 の記憶回路及び第 2 の記憶回路を有する第 4 の回路と、演算回路を有する第 5 の回路と、を有し、

前記第 4 の回路は、前記第 5 の回路の上方に設けられ、

前記第 4 の回路又は前記第 5 の回路の一方は、前記第 4 の回路又は前記第 5 の回路の他方と重なる領域を有し、

前記第 1 の記憶回路は、チャネル形成領域に酸化物半導体を有する第 1 のトランジスタを有し、

前記第 2 の記憶回路は、チャネル形成領域に酸化物半導体を有する第 2 のトランジスタを有し、

前記第 1 の記憶回路は、前記第 1 の回路によって検出された生体情報を記憶することができる機能を有し、

前記第 2 の記憶回路は、前記生体情報と比較される基準値を記憶することができる機能を有し、

前記第 5 の回路は、前記生体情報と前記基準値と比較することができる機能を有する半導体装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記第 1 の記憶回路は、第 1 の容量素子を有し、

前記第 1 のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第 1 の容量素子と接続され、

前記第 2 の記憶回路は、第 2 の容量素子と、インバータと、を有し、

前記第 2 のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第 2 の容量素子及び前記インバータの入力端子と接続され、

前記インバータの出力端子は、前記第 5 の回路と接続されている半導体装置。

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 において、

第 3 のトランジスタを有し、

前記第 3 のトランジスタのソース又はドレインの一方は、前記第 1 の記憶回路と電氣的に接続され、

前記第 3 のトランジスタのソース又はドレインの他方は、前記第 5 の回路と電氣的に接続され、

前記第 3 のトランジスタはチャネル形成領域に酸化物半導体を有する半導体装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の半導体装置を有し、

無線信号の送受信を行う機能を有する健康管理システム。